

病院と地域をむすぶ



パイプライン



2018年6月号

発行：2018.6.8 総合病院 南生協病院

電話番号 052-625-0373

五月

一日外来患者数：825.9人 一日入院患者数：259.6人

ベッド稼働率：82.9% 救急車：173台 手術数：144件

当院でのアブレーション治療について(部長が語る)

私が南生協病院で循環器診療を始めて、早いもので9年目になります。不整脈、特に心房細動の患者様の来院が年々増加していることに正直驚いています。当院でアブレーション治療（不整脈の原因となる心筋をカテーテルで高周波焼灼する治療）を受けられた心房細動の患者様は既に100名を越え、9割の方は治癒されています。

しかし、一方でなかなか完治させることが難しい方も1割弱ですがいらっしゃることも事実です。

2017年2月、こういった患者様を少しでも減らすべく最新型の3Dナビゲーションシステム：カルト3 コンフィデンスバージョンを導入しました。国内49施設目という当院としては異例の迅速導入でした。それまでは東海地方で唯一ナビゲーション無しで心房細動を治療していました。昨今のナビゲーションの進歩を見て今回導入してみたところ、確かな手応えを感じています。難しいと言われた心房細動の治療も最終段階に入ったように感じています。



循環器内科部長 香曾我部泰

新人看護師さんを紹介します



(新人から一言) 私は4月から開設された地域包括ケア病棟に配属となりました。南生協病院は急性期から回復期、在宅へと一貫した医療が学べることと、地域の方たちを支え合う「おたがいさま」の活動に魅力を感じました。地域包括ケア病棟は退院支援をメインに行っています。患者様とご家族が希望される生活ができ、安心して地域で暮らしていける支援ができるよう、先輩看護師に教わりながら頑張ります。

6B病棟 山本佳世

急性期病棟とは違った、地域包括ケア病棟を紹介します

利用して楽しい 地域包括ケア病棟



お花見に外に出てみました



7階屋上の花壇に野菜を植えました

患者様それぞれに合った、退院支援をおこなっていきます

2018年4月1日、南生協病院に『地域包括ケア病棟』が開設されました。地域包括ケア病棟とは、急性期病棟で病状が安定した患者様が安心してご自宅や施設に戻れるように支援する病棟です。ご自宅に戻られる際には、必要に応じて介護サービスや住宅改修・福祉用具の導入などの提案もさせていただきます。また、リハビリ以外の時間で散歩に出かけたり、7階にある庭園へ花や野菜のお世話に行ったり、レクリエーションをしたりとベッドから離れた生活を支援しています。

「自宅に帰りたい」「こんなことができるようになりたい」など主体性を尊重した支援を多職種と協同していきたいと思っています。地域包括ケア病棟班会、病院見学会もおこなっていますので、ぜひお問い合わせください。

6B 病棟看護課長 石川和美

認定・専門看護師を紹介します

こんにちは、がんを患った方にとり、痛みはとても深刻な問題です。痛みにより身体的な苦痛をもたらすだけでなく、精神的・社会的にも影響を及ぼします。

そのため、これらの苦痛を少しでも和らげ、患者様ひとりひとりの思い描く生活ができるように、お手伝いさせて頂きたいと思っています。

まだまだ医療用麻薬に対する誤解は多いです。それらの誤解を解いたり、痛みが軽減できるように適切な薬剤の検討をしたり副作用による苦痛がないようにコントロールしていきます。

そしてこれらの活動を地域の方々とも連携を図りながら行っていきたいと思っています。

がん性疼痛看護認定看護師 古田瑞香、下里麻梨子



はしか(MR)ワクチン予防接種について

4月末ごろにはしかの流行について新聞・テレビ報道があつてから、はしかワクチンの予防接種をご希望いただく方が急増しています。それに伴い、はしかワクチンの供給が全国的に遅れが生じ、予防接種を打ちたくても打てないことができています。

南生協病院では、はしかワクチン接種ご希望の方に、ワクチンの入荷目処が立ち次第、順番に連絡をさせていただいております。5月から開始し、すでに30名程度の方に予防接種を打っていただきました。ご希望の方は、電話予約センターへお問い合わせください。

【お問合せ先】電話予約センター：052-625-0373